機械器具(12)理学診療用器具

一般医療機器 一般的名称:体表用除細動電極 (コード:15033001)

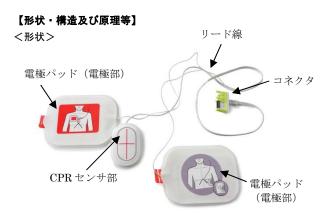
* CPR Stat-padz 小学生~大人用除細動パッド

再使用禁止

【禁忌・禁止】

<使用方法>

• 再使用禁止



ゲル: 導電性ハイドロゲル

<作動原理>

本品は、正常な心拍の回復のために除細動器に接続し電気ショックを伝達するための除細動パッドであり、開胸を行わず体表面に装着し使用するものである。

電極部は、電気エネルギーを伝達するための電極、皮膚との導 電性を高める電解物質、これを体表面に固定する粘着部より成 り、除細動器で発生させた電気エネルギーを伝達する導体とな っている。また、心電信号を誘導する電極を兼ねており、心臓 の活動電位を誘導する。

CPR センサは、胸骨圧迫時に圧迫深度及び圧迫速度に関する情報を出力することができる。

【使用目的又は効果】

正常な心拍の回復のため、除細動器から患者に制御された電気ショックを伝達するために用いる導体であり、除細動器に接続する電極を備えたケーブルセットである。開胸しない胴(正常)の上で用い(通常、患者の心臓が細動状態の場合)、胸骨圧迫の深度及び速度を測定するための物理センサを有する。

【使用方法等】

- (1) 電極パッドの事前接続
- ① 本品のパッケージから外部に出ているコネクタを除細動器に接続する。(除細動器により、マルチファンクションケーブルと CPR コネクタを介して接続する。)
- ② 赤い矢印の方向に従い、パッケージを開く。
- (2) 貼付皮膚の準備
- ① 患者の胸部の服を脱がせる。患者が毛深い場合には、必要に応じて胸毛をクリッパーで除毛する。剃毛による微小の擦過傷が生じるとペーシング中に患者が不快感を覚えることがあるため、剃刀ではなくクリッパーの使用が推奨される。

- ② 本品を貼付する皮膚が清潔で、濡れていないことを確認する。軟膏又は術前に使用される消毒薬等が塗布されている場合や破片が付着している場合は、水で(必要に応じて低刺激性石鹸も使用して)洗い流す。乾いた布で余分な水分や汗を拭きとる。
- (3) 本品の貼付方法
 - ① 電極パッドの装着面のシートを剥がし、一方の端を患者にしっかりあてる。
- ② 電極パッドをなでつけるように皮膚に密着させながら添付する。装着面のゲルと皮膚の間に空気が入らないように注意する。
- (4) 本品の貼付位置
- ① Anterior Anterior (右前胸部 左側胸部) 位置 <除細動、心電図モニタリングのみの場合>

本品の中央にある CPR センサの十字線 (+) を、胸部中央の胸骨の下半分(胸の真ん中)に置き、パッケージのイラストに従い所定の位置(胸の右上側)に貼付する。

もう一方の CPR センサと繋がっていない電極パッドをパッケージのイラストに従い所定の位置(胸の左下側)に、電極パッドの上部が胸筋の下部と沿うように貼付する。

患者が女性の場合、乳房の下に貼付する。





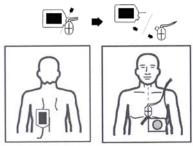
② Anterior-Posterior (前胸部-後背部) 位置 <除細動、体表ペーシング、カルディオバージョン、心電図 モニタリングの場合>

電極パッドから CPR センサを切り離し、切り離した電極パッドをパッケージのイラストに従い所定の位置(後背部)、心臓の高さで肩甲骨のすぐ下の脊椎の左側に貼付する。

CPR センサは胸部中央の胸骨の下半分(胸の真ん中)に置き、貼付する。

CPR センサと繋がっていない電極パッドをパッケージのイラストに従い所定の位置(胸の左下側)、心突部に貼付する。

患者が女性の場合、乳房の下に貼付する。



- (5) 除細動器からの音声案内もしくはメッセージ表示に従い、 患者に除細動又は胸骨圧迫を施す。
- (6) 使用後は、除細動器よりコネクタを外す。
- *(7)患者より本品を剥がし、適切な方法で廃棄する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

<組み合わせて使用する医療機器>

| # | 本品は、以下の医療機器と組み合わせて使用することができる。 | | | | | | |
|---|--|-----------|-------------------|----------------------|--|--|--|
| 者向け自動 除細動器 半自動除細動 岩 22200BZI00015000 本体 半自動除 細動器 ZOLL AED Pro 半自動除細動器 22200BZI00004000 本体 半自動除 細動器 ZOLL AED Pro マニュアルモード無し 半自 動除細動器 22700BZI00007000 本体 一時的使 用ペーシング機能 付除細動器 X Series 除細 動器 22500BZI00025000 本体 でア・ファンクションケーブル ブル CPR-D アッズ・MFC コミクタ 本体 OneStepーブル | | | 販売名 | | | | |
| 半自動除 細動器 半自動除細動器 22200BZI00004000 本体 半自動除 細動器 ZOLL AED Pro マニュアルモード無し 半自 動除細動器 22700BZI00007000 本体 一時的使用ペーシング機能付除細動器 X Series 除細動器 22500BZI00025000 ブル CPR-D バッズ・MFC コミクタ 本体 0neStepーブル | 00BZI00015000 本体 | 22200BZI | 半自動除細動 | 者向け自動 | | | |
| 半自動除 細動器 マニュアルモ ード無し 半自 動除細動器 22700BZI00007000 本体 一時的使 用ペーシング機能 付除細動器 X Series 除細 動器 22500BZI00025000 ゴル CPR-D / ッズ・ MFC コラクタ 本体 OneStepーブル | 00BZI00004000 本体 | 22200BZI | 半自動除細動 | | | | |
| 一時的使用ペーシング機能付除細動器 X Series 除細動器 22500BZI00025000 コンケーブル CPR-D ケッズ・MFC コラクタ 本体 OneStep ーブル | | 22700BZI | マニュアルモ ード無し 半自 | | | | |
| OneStep ーブル | マルチフ ァンクシ ョンケー ブル CPR-Dパ ッズ・ MFC コネ | 22500BZI0 | | 用ペーシ ング機能 付除細動 | | | |
| 用ペーシ ング機能 付除細動 器 R Series 除細 動器 22600BZI00005000 | OneStep ケ ーブル または OneStep ペ ーシング ケーブル R Series CPR コネ | 22600BZI | | ング機能 付除細動 | | | |
| 半自動除 細動器 ZOLL AED 3 BLS 自動体外 式除細動器 23000BZI00002000 本体 | | 23000BZI | BLS 自動体外 | | | | |
| 非医療従 事者向け 自動除細 動器 | 00BZI00003000 本体 | 30100BZI | 自動体外式除 細動器 | 事者向け 自動除細 | | | |
| 非医療従事者向け自動除細動器 ZOLL AED 3 オートショック自動体外式除細動器 30400BZI00001000 本体 | 00BZI00001000 <u>本体</u> | 30400BZI | オートショック自動体外式除細動器 | 事者向け 自動除細 動器 | | | |
| | | | | | | | |

※ 外国特例承認取得者はいずれもゾールメディカルコーポレ ーション、選任製造販売業者はいずれも旭化成ゾールメデ ィカル株式会社。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・除細動時には本品を体表面に密着させ、乾いた電極は使用 しないこと。また乳首が電解ゲル部に触れないよう貼付す ること。[患者が火傷するおそれがある]
- ・過剰な毛があると本品と皮膚との密着が不良となることが あるため、クリッパーを用いて除毛すること。[本品が剥が れたり密着が良好でない場合、アークや皮膚熱傷が生じる おそれがある。]
- ・除細動パッドは必ず後背部パッドから貼付すること。[前胸 部パッド貼付後に患者を動かして後背部パッドを貼付しよ うとすると、前胸部パッドが部分的に剥がれることがあ る。密着が良好でない場合、アークや皮膚熱傷が生じるお それがある。]
- ・筋収縮によって患者が動いたり患者を移動させた後は、除 細動パッド全体を抑えて、装着面と皮膚を確実に密着させ ること。[本品が剥がれたり密着が良好でない場合、アーク や皮膚熱傷が生じるおそれがある。]

- ・乳房の下部分や、脂肪により皮膚にひだのある場所はできる 限り避け、皮膚の平らな部分に本品を貼付すること。[皮膚 への密着が良好でない場合、アークや皮膚熱傷が生じるおそ れがある。] 除細動中は電極、CPR センサ、リード線などに 触れないようにすること。[作動不良のおそれがある。ま た、使用中に直接電極に触れると、操作者が火傷又は電撃を 受けるおそれがある。]
- ・貼付24時間後、または8時間のペーシング後は電極を交換 すること。[皮膚の炎症を起こすおそれがある]
- ・長時間のペーシング (30 分以上) の際は、電極パッド周辺 の皮膚を定期的に検査すること。[皮膚の炎症を起こすおそ れがある

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・手による胸骨圧迫は、除細動パッドではなく CPR センサの 上から行うこと。[除細動パッドが損傷し、アークや皮膚熱 傷に至るおそれがある。
- ・パッケージは使用する直前まで開封しないこと。[患者の体 表に密着せず、救命効果が得られないおそれがある。]
- ・屋外で使用する場合、患者を湿気のある大地から絶縁する こと。[操作者および周囲の人が火傷または電撃を受けるお それがある]

<相互作用>

併用注章 (併用に注意すること)

| | 医療機器の名称等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 | | | | |
|--|--------------|------------------|-----------------|--|--|--|--|
| | 植込み型ペース | 除細動パッドの配置 | 植込み型ペースメ | | | | |
| | <u>メーカ</u> | は、植込み型ペース | ーカのパルスによ | | | | |
| | | メーカの真上を避 | り心電図解析の精 | | | | |
| | | <u>け、ずらして貼付す</u> | 度が低下したり、 | | | | |
| | | <u>ること。</u> | 本品の通電により | | | | |
| | | | 植込み型ペースメ | | | | |
| | | | <u>ーカが損傷するお</u> | | | | |
| | | | <u>それがある。</u> | | | | |
| | 外部パドル | 外部パドルを使用し | アークや皮膚熱傷 | | | | |
| | 心電図電極 | て除細動パッドの上 | が生じるおそれが | | | | |
| | | から電気ショックを | <u>ある。</u> | | | | |
| | | <u>打たないこと。</u> | | | | | |
| | | 心電図電極を除細動 | | | | | |
| | | パッドの下に設置し | | | | | |
| | | <u>ないこと。</u> | | | | | |
| | 電気手術器(特 | 電気手術器より供給 | 電気手術器の電流 | | | | |
| | に、電気手術器の | される電流が本品の | が本品に流れる | | | | |
| | 製造元が推奨す | 装着面に集中するこ | と、本品の装着部 | | | | |
| | る対極板以外の | <u>とがある。</u> | で皮膚熱傷を生じ | | | | |
| | ものを使用して | | <u>るおそれがある。</u> | | | | |
| | <u>いる場合)</u> | | | | | | |

<妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用>

- ・未就学児(小学校入学前の子ども)に対する本品の使用につ いては、有効性・安全性が確認されていないことから、小児 用パッドを備えた自動体外式除細動器が近くにないなど、や まか得ない場合に限り使用すること。
 - ・やむを得ず本品を未就学児に使用する場合は、CPR センサ 部を切り離し、CPR センサ部から切り離した電極パッドを 後背部に、もう一方の CPR センサと繋がっていない電極パ ッドを胸部の左下側に貼付すること。その際、2枚の電極部 が触れ合うことがないように注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

保管温度:長期保管 0~35℃、短期保管 -30~65℃

製造より24ヵ月[自己認証(当社データ)による]

取扱説明書を必ずご参照ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

旭化成ゾールメディカル株式会社 電話番号: 03-6205-4920 (代)

<外国製造業者>

ゾールメディカルコーポレーション(ポータケット)(米国) ZOLL Medical Corporation (Pawtucket)

取扱説明書を必ずご参照ください。